

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 旭ポリスライダー		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 530-0005 大阪府大阪市北区中之島三丁目 3 番 3 号	
本票作成	部署名：環境管理責任者				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
事業の概要	プラスチック成型品の製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山久世工場		岡山県真庭市三崎 8 6 0 - 2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 0 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 25 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	7,861 t CO ₂	7,879 t CO ₂	7,468 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	岡山久世工場	7,879 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 26 年度 ～ 平成 26 年度 (1 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	3.5 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26)年度	目標年度
		10.415 t CO ₂ /千万個)	10.047 t CO ₂ /千万個)	9.894 t CO ₂ /千万個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

昨年に引き続き、本年も温室効果ガスの削減目標を達成できなかった。5%削減という目標が大きすぎたと考える。従来、射出成型機などの生産設備のサイクルタイム短縮でかなりの効果を上げてきたが、対象となる生産設備がほぼ一巡したため、目標達成が難しくなったと考える。今後は、新たな取り組みとして、生産設備の稼働率を、理論値に近づけるための分析や対策を全生産部門で行い、目標を達成したい。

【推進体制】

毎月、稼働率の分析や対策について経営者と現場担当者が一体となって取組む体制を維持している。経営陣がこの体制に加わることで、スピーディな投資や対策の実施が可能となる。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山久世工場	(26年度実施分) 1. 射出成型機の更新(省エネタイプ、サイクル短縮) ⇒原油換算12k1/年削減 2. 圧縮空気エアードライヤーを省エネタイプに更新 ⇒原油換算53k1/年削減 3. LPG強制気化装置の更新 ⇒ 省エネ効果よりも漏洩防止など (今後実施予定分) 1. 射出成型機更新時にはサイクルタイム短縮、省エネタイプを導入する。 2. 保有する生産設備の稼働率を理論値に近づける。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

弊社は、経営者と現場担当者が一体となって採算性向上(省エネ)に取り組んでいる。経営者が現場を理解し、必要な投資(対策)をスピーディに決定することができるため、少しでも無駄を削減できる体制の早期実現を可能にしている。